

とうきょうすくわくプログラム

活動報告書



1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

「体」「体の使い方」

＜テーマの設定理由＞

ジャンプをする時、回転をする時、足を大きく広げる時、手で体を支える時など、どんな風に体を使ったらもっと高く飛べるのか、早く回れるのか、大きく開くのか、グラグラしないで同じ姿勢を保てるのか、など、自分の体の使いながら今よりもっと上達する方法に意欲を持ち工夫をし、自分の体の動きや動かし方に興味を持ち、もっと知りたいという気持ちになる。

2. 活動スケジュール

2024 年 6 月～2025 年 3 月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・3 階保育室

9：30 までにテーブルや椅子を片付け空間を作る。その日の活動により道具を倉庫から出す。

マット、鉄棒、巧技台、カラーコーン 等

・駒込公園

ボール、縄跳び、カラーコーン 等

雨天や暑さが厳しい時は 3 階保育室の活動に変更する。

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

6 月 ボール、鉄棒

12 月 巧技台

7 月 鉄棒

1 月 マット、鉄棒

9 月 マット

2 月 なわ、ボール

10 月 巧技台

3 月 ボール、巧技台

11 月 ボール

＜活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関わり＞

楽しみながら体を動かすことから始まり、種目に移る。こどもたちはワクワクし、気分が高揚するため落ち着いて取り組めるよう、楽しい気持ちを損なわないよう保育士は必要に応じ声を掛けた。前回できなかったことができた時やもっとできた時はみんなで拍手をしたり、なかなかできない時には「がんばれ」と声援を送り気持ちが一つになれるよう、保育者と一緒に関わった。

5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

一年を通して段階的に活動をすることで、振り返るとこどもたちの身体的能力は格段に上がっていた。できることの喜びが「またやりたい」「もっとうまくなりたい」という気持ちに発展していた。

コンビプラザ駒込ちどり保育園